

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 323

事務事業名	養豚経営安定対策事業
-------	------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	農林水産部		
課名	農業水産課		
課長名	下玉利 輝幸	内線	266
担当者名	開 健一	内線	253

基本目標		活力に満ちた産業のまち
政策	040104	魅力ある農林水産業の振興
施策		畜産業の振興
関連施策		

会計	一般		
款	6	農林水産業費	
項	1	農業費	
目	4	畜産業費	
事業コード	110000	養豚経営安定対策事業	

事業類型	5	負担金・補助金事業
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	養豚経営農家		
誰(何)に対して事業を行うか			
意図	養豚農家が現在積み立てている「養豚安定経営基金」は、県より一部補填金助成があり、残りを生産者が負担し積み上げられている。農家負担の一部を市で補填することで生産者負担を軽減するとともに、全国各地で流行している豚流行性下痢(PED)の自営防疫に努めさせ、養豚経営の安定に寄与する。		
対象をどのような状態にしたいか			
事業概要	「養豚安定基金」に農家が拠出している金額の一部を助成する。 生産者負担金:700円(内県補助金112円) 年間出荷頭数:1万頭 大村市補助金:56円(県補助金の1/2を予定)		
意図を達成するために実施することは何か			
事業期間	平成 26 年度 ~ 平成 27 年度	実施方法	
根拠法令、要綱等	大村市農林水産振興事業補助金		
国・県補助事業に係る本市単独施策			

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 年間出荷頭数	計画値		10,000	10,000		
		実績値		8,431	8,266		
		達成度	%	84.3%	82.7%		
活動指標	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				
成果指標	① 販売量	計画値		670	670		
		実績値		661.0	625.0		
		達成度	%	98.7%	93.3%		
	② 販売金額	計画値		278.0	278.0		
		実績値		330.0	330.0		
		達成度	%	118.7%	118.7%		

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	0	560	560	0	0	0	0	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源		560	560					
② 人件費(千円)	0	1,134	1,058	0	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)		0.15	0.15					
時間外勤務(時間)								
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	0	1,694	1,618	0				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	豚の伝染病発生により、豚価は比較的安定しているが、それに伴う優良素畜の導入確保が困難になってきている。このため、早期の生産基盤を築く必要があり、ここにご畜産経営事業に移行して、優良豚の導入を行う。
事業が抱える問題・課題等	自衛防疫を引き続き徹底させ、豚肉の安定生産を継続させる。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入していません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性 前年終了

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性		2次評価	対象外	今後の方向性	
	終期設定			終期設定		
	意見等			内容		

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。